

SDGs「すべての人に安全な水を！」に一役 ～ 20名の技術者が漏水探査手法を学びます～

開発途上国における水の供給で一番の課題は、いかに漏水を防ぐかにあります。限られた予算で作った貴重な水が市民の家に届くまでに、老朽化した配管、不完全な接合部の工事などにより、膨大な量が無駄になっています。開発途上国においては無収水率（漏水など収入にならない水）が6割を超えることもあります。配水管は地中にあるため探査機器無しでの発見は極めて困難です。多くの開発途上国では、探査する機器も古く、また技術も十分ではありません。



JICA 関西が実施する「都市上水道維持管理」研修では16か国(※)20名が6月26日から8月2日の日程で、研修に励んでいます。新旧の探査機器の性能を確認しながら、地中で漏水している場所を探し出す実習を行います。漏水箇所をピンポイントで探し出すことにより貴重な水を無駄にすることなく「すべての人に安全な水と衛生へのアクセス」というSDGs第6番目の目標達成への貢献を目指しています。

研修員が真剣な表情で探査方法を学ぶ実習風景の取材を是非ご検討下さい。

※アジア(バングラデシュ、カンボジア、ミャンマー、パキスタン、ラオス、ネパール)、アフリカ(ベナン、スーダン、モーリシャス、タンザニア)、他(イエメン、エジプト、ブラジル、パプアニューギニア、パナマ、トルコ)

日時	内容	場所
7/18(木) 9:30～12:00	漏水調査(講義)	大阪市水道局 体験型研修センター 住所: 大阪市東淀川区柴島 3-11-94
7/18(木) 13:00～16:00	漏水調査(講義と実習)	

【本件に関する問い合わせ先】

◆JICA 関西業務第二課 重松 (しげまつ)

TEL: 078-261-0388

e-mail: Shigematsu.Sumihiko2@jica.go.jp

◆当日の取材について

大阪市水道局体験型研修センター

中下 (なかした) TEL: 06-6322-0576